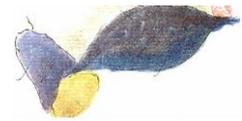


ウッドデッキの楽しみ方にはいろいろあります。



海外旅行で購入した、日よけパラソルを付けました。海外旅行で購入したパラソルをウッドデッキに取りつけて欲しいとのご要望でした。パラソルの軸受け台をデッキ根本部分に収納し必要ときに床の蓋を取り外せば、パラソルが立てられる様になっています。強い日差しの夏場には、最高ですね。パラソルをはずし、蓋をすれば普通のデッキ。

デッキ下部分は、通気性を考えて、隙間を空けて幕板を貼っています。猫等が入らないようにです。



住宅の裏手には、イペ材のウッドフェンスがあります。フェンスの高さは、280cm。目隠しとして活用されているためです。また、庭の手入れが出来るように、フェンス下は110cm開けてあります。



この和風の庭は、水が流れるような感じをだすために、ワイヤープランツのような、下に垂れていく植物が飾ってあります。

もともと、家にあった石などを活用して造られた、とても小さな庭園です。

和風庭園に竹垣も良いですが、木材のフェンスも合いますよ。

ウリン材のデッキとフェンス

こちらは、ウリン材のデッキです。ウリン材の耐久性はイペ材と大差ありません。赤渋が、柱部分には出るため、地面がコンクリート面でなければ気になりません。

ウリン材を使った横14mのウッドフェンスは、なかなか高級感があります。フェンスの高さは1.9mです。また、金属や樹脂では表現できない暖かみと上品さがあります。

お隣の水場が、ちょうどリビングの前にありましたが、ワイドなフェンスで隠れてしまいました。

フェンスの隙間間隔を2cmにしてあります。

全く遮断されることはなく、しかも、これだけワイドなフェンスでも圧迫感はありませんでした。



化粧ブロックとイペ材のコラボレーション

通常よく使われる化粧ブロックにイペ材を貼り付けて門柱を作りました。どうでしょうか。このイペ材は塗装していません。

表札はガラス面に名前が浮き出るタイプ。表札の上部には照明を取りつけました。節がなく、20年以上の耐久性があるイペ材だからこそ屋外の門柱に使用できます。他の木材では不可能です。

上品な出来上がりだと思います。皆さんの玄関回りも、替えてみませんか。



ウッドデッキの空間スペースを広げて住宅西側のデザイン上のアクセントになっています。また、下の道路側からの目隠しにもなっており、洗濯物の乾し場スペースになっています。

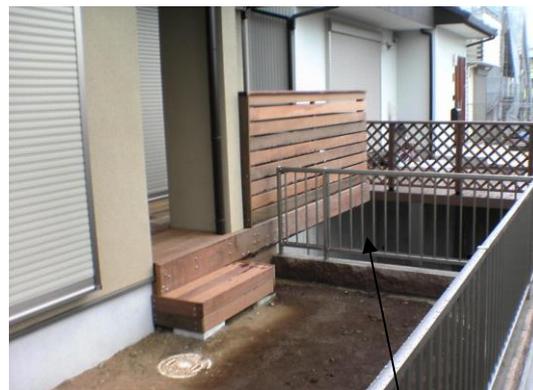


隣家の玄関がすぐ近くにありますが。

高さのあるラティスフェンスで隣家の目線隠しにしています。デッキ床から1800mmのラティスフェンスです。隣家の目線の位置に、ハンギングバスケットで上手に遮断。

空中に浮くウッドデッキ？

ウッドデッキ施工希望場所の下にカーポートがあり、デッキの柱を建てるが出来ませんでした。そこで、コンクリート擁壁にアンカーボルトで根太を固定して、この様なデッキを作成しました。「ウッドデッキを作りたくても、施工する空間がない」と、思われている方も、ランドマーク(株)に相談して下さい。



おっ！デッキを支える柱がありません。

